

千葉市感染症発生動向調査情報

2023年 第15週 (4/10-4/16) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		15週	14週	13週	12週
小児科		18	18	18	18
眼科		5	5	5	5
インフルエンザ*		28	28	28	28
基幹定点		1	1	1	1

上段: 患者数
下段: 定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数

定点	感染症名	千葉市						千葉県
		注意報	4/10-4/16	4/3-4/9	3/27-4/2	3/20-3/26	4/3-4/9	
			15週	14週	13週	12週	14週	
小児科	RSウイルス感染症		1 0.06	0 0.00	0 0.00	1 0.06	11 0.09	
	咽頭結膜熱		2 0.11	2 0.11	1 0.06	0 0.00	17 0.13	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4 0.22	0 0.00	2 0.11	1 0.06	46 0.36	
	感染性胃腸炎	○	64 3.56	55 3.06	55 3.06	67 3.72	396 3.07	
	水痘		0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.11	12 0.09	
	手足口病		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.01	
	伝染性紅斑		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
	突発性発しん		5 0.28	2 0.11	5 0.28	3 0.17	31 0.24	
	ヘルパンギーナ		0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.11	1 0.01	
	流行性耳下腺炎		1 0.06	0 0.00	1 0.06	1 0.06	6 0.05	
インフル	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)	↓	39 1.39	45 1.61	79 2.82	101 3.61	366 1.78	
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
	流行性角結膜炎		0 0.00	1 0.20	0 0.00	0 0.00	8 0.23	
基幹定点	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
	無菌性髄膜炎		0 0.00	1 1.00	0 0.00	0 0.00	1 0.11	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	

★★: 流行中 ★: やや流行中 ○: 増加 ○: やや増加 →: 変化なし ↓: やや減少 ↓↓: 減少

2 全数報告対象疾患: 125 例 ※ 新型コロナウイルス感染症117例は数のみ

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	40歳代	病原体の分離・同定	梅毒	男性	20歳代	血清抗体の検出
	女性	70歳代	IGRA検査		男性	30歳代	
	女性	80歳代	病原体の分離・同定		男性	40歳代	
	女性	90歳代	病原体等の検出		男性	40歳代	
-	-	-	-	新型コロナウイルス感染症	男女	0歳代-90歳代	病原体遺伝子の検出等

・第15週は、結核4例(32)、梅毒4例(24)、新型コロナウイルス感染症117例(5,784)の発生届があった。

※ ()内は2023年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第15週のコメント

<感染性胃腸炎>

前週よりやや増加し3.56となった。過去10年の同時期と比べると少ない。年齢階級別の報告数は1歳で最多。区別の発生状況は、若葉区(10.00)で最多で、同区の1歳で最も多く発生報告があった。

<インフルエンザ>

前週よりやや減少し1.39となった。過去10年の同時期と比べると少なめ。年齢階級別の報告数は4歳が最多。区別の発生状況は、稲毛区(3.00)で最多で、同区の4歳で最も多く発生報告があった。

■ 「過去10年との比較グラフ」及び「区別の発生グラフ」はWebSiteでご覧いただけます。

- ・ 過去10年との比較グラフ

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2022.pdf>

- ・ 区別の発生グラフ

https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph_ward2022.pdf

■ トピック ■

<梅毒>

2023年第14週時点の全国の届出累積数は3,785例で、過去10年の同時期と比べると最多となっており、これまで最も多かった2022年(2,592例)のおよそ1.5倍となっています。都道府県別では東京都(987例)が最も多く、次いで大阪府(480例)、北海道(244例)の順となっています。千葉県は116例で全国で8番目に多くなっています。

千葉市では第15週に4例の届出があり、2023年の届出累積数は24例となりました。過去10年の同時期と比べると最多で、これまで最も多かった2021年(14例)のおよそ1.7倍となり非常に多くなっています(図1)。

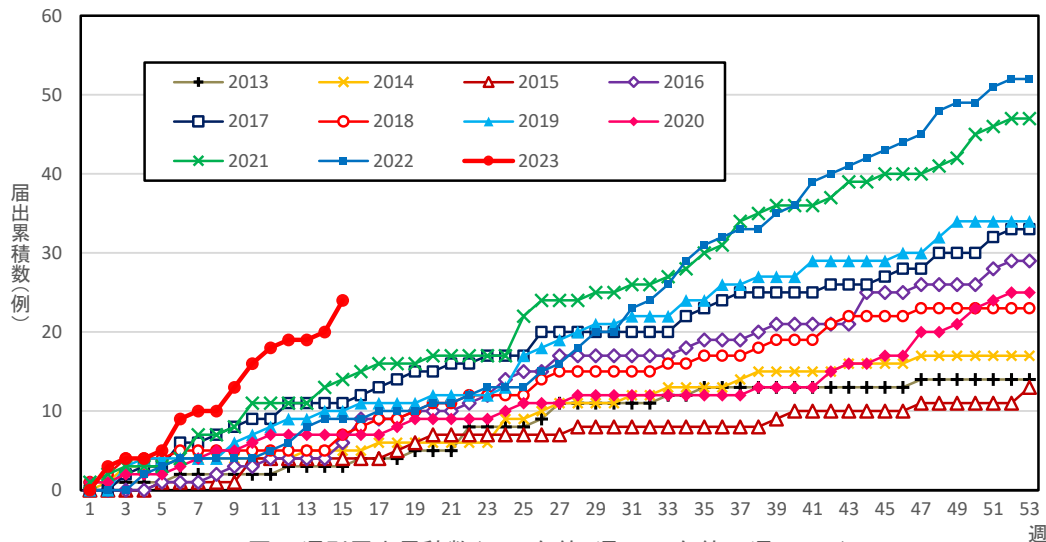


図1 週別届出累積数(2013年第1週-2023年第15週 n=311)

2013年第1週から2023年第15週までに311例の届出がありました。届出累積数は増加傾向となっており、2021年は47例、2022年は52例で連続して更新しています(図2)。男性190例(61.1%)、女性121例(38.9%)で、性別・年代別では、男性で40歳代(52例、27.4%)が最も多く、次いで30歳代(41例、21.6%)、20歳代(31例、16.3%)の順となっており、女性は20歳代(62例、51.2%)が最も多く過半数を占めており、次いで30歳代(19例、15.7%)、10歳代(16例、13.2%)の順となっています(図3)。

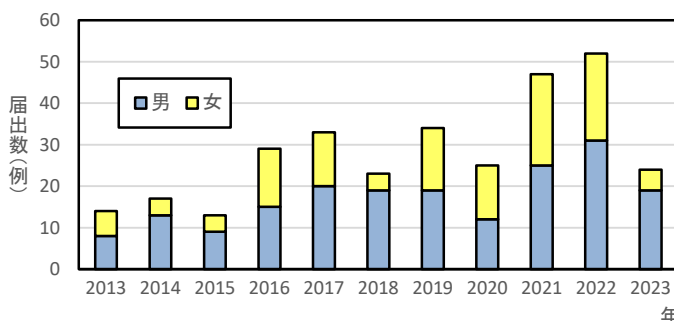


図2 年別・性別(2013年第1週-2023年第15週 n=311)

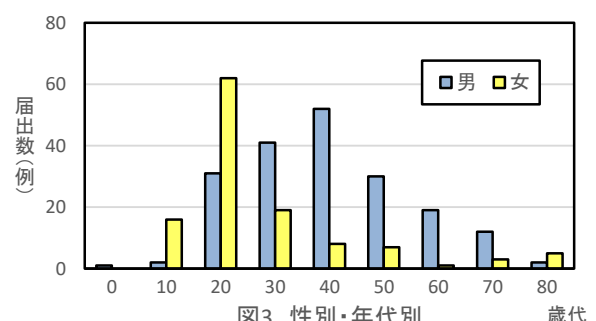


図3 性別・年代別
2013年第1週-2023年第15週 n=311

感染経路は、性的接触が最も多く(260例、83.6%)、次いで不明(49例、15.8%)となっており、他に母子感染及び輸血による感染が各1例(0.3%)ありました。

病型別では、男性は早期顕症梅毒Ⅰ期(以下「Ⅰ期」という)が最も多く(66例、34.7%)、次いで無症候(56例、29.5%)、早期顕症梅毒Ⅱ期(以下「Ⅱ期」という)(50例、26.3%)、晩期顕症梅毒(17例、9.0%)、先天梅毒(1例、0.5%)の順であり(図4)、女性はⅡ期が最も多く(53例、43.8%)、次いで無症候(50例、41.3%)、Ⅰ期(13例、10.8%)、晩期顕症梅毒(5例、4.1%)の順で、先天梅毒はありませんでした(図5)。

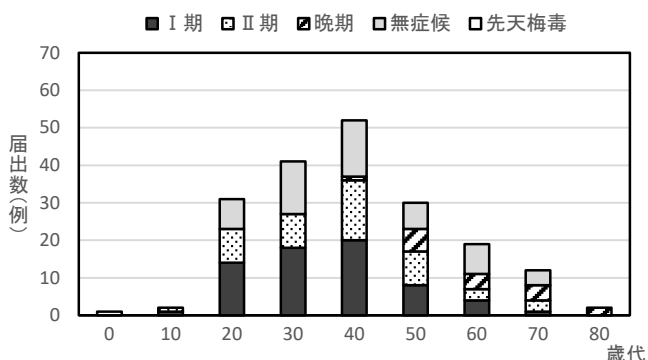


図4 病型別・年代別(男性)
2013年第1週-2023年第15週 n=190

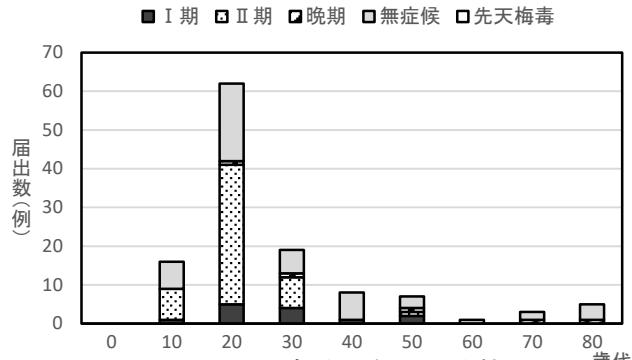


図5 病型別・年代別(女性)
2013年第1週-2023年第15週 n=121

梅毒は、梅毒トレポネーマという病原体により引き起こされる感染症で、主にセックスなどの性的接触により、口や性器などの粘膜や皮膚から感染します。オーラルセックス(口腔性交)やアナルセックス(肛門性交)などでも感染します。また、一度治っても再び感染することがあります。

梅毒に感染すると、性器や口の中に小豆から指先くらいのはしりができたり、痛み、かゆみのない発しんが手のひらや体中に広がることがあります。また、これらの症状が消えても感染力が残っているのが特徴です。治療をしないまま放置していると、数年から数十年の間に心臓や血管、脳などの複数の臓器に病変が生じ、時には死にいたることもあります。

梅毒は、患者数が多いこと、比較的安価な診断法があること、ペニシリン等治療に有効な抗菌薬があること、また感染した妊婦への適切な抗菌薬治療により母子感染の防止に繋がることなどから公衆衛生上重点的に対策をすべき疾患として位置付けられています。

予防として、粘膜や皮膚が梅毒の病変と直接接触しないように、また病変の存在に気づかない場合もあることから、性交渉の際はコンドームを適切に使用しましょう。ただし、コンドームが覆わない部分から感染する可能性もあるため、コンドームで100%予防できると過信はしないようにしましょう。もし皮膚や粘膜に異常を認めた場合は、性的な接触を控え、早めに医療機関を受診して相談しましょう。

先天梅毒を予防するには、梅毒スクリーニング検査を含む妊婦健診を受診すること、妊娠中に少しでも心当たりや疑わしい症状があった場合は積極的に梅毒検査を受け、梅毒と診断された場合は早期治療を開始すること、妊娠中の安全な性交渉が重要です。

千葉市では、梅毒の他、HIV抗体やクラミジア抗体検査について、令和5年度から市内医療機関に委託し実施していますので、心当たりのある方はパートナーの方も含め受診をご検討ください。

詳細は、下記URLをご参照ください。

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/hokenjo/kansensho/eizu.html>